

ガバナー月信



米山年度感謝の集いにて

月信最終号

米山年度を振り返って

- ① ガバナー
- ② 地区幹事
- ③ 地区財務委員
- ④ ガバナー補佐
- ⑤ 地区委員会

2023-24 年度 財団・米山奨学寄付一覧



国際ロータリー第 2560 地区
2023-24 年度

米山ガバナー事務所

〒951-8061 新潟市中央区西堀通七番町 1574
ホテルイタリア軒 B1

TEL : 025-222-2561 FAX : 025-222-2565



ガバナー一年度を振り返り思う事

2023-24 年度 ガバナー

米山 忠俊 (三条北 RC)

連日の熱帯夜が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

米山年度が終わり、ガバナーとしての一年を振り返りながら自身に問いかけております。

2023-24 年度は新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行した事で、2560 地区の停止していた各委員会の活動も以前通りに再開する事が出来るようになりました。

ガバナー公式訪問を始めとして、各委員会の様々な行事やセミナー・地区大会等が行われ老体の私にとって多忙な一年になりましたが、お陰様で予定していた事業行事を滞りなく終える事が出来ました。これら全てがロータリアンの皆様からの温かいご支援とご協力に寄るものです。改めまして感謝し、お礼を申し上げます。

又この年度において、全国各地で甚大な自然災害に見舞われました。中でも秋田の豪雨災害に始まり元旦早々の能登半島地震、そして海外に目をやれば、日本の隣に位置する台湾にも大きな地震が襲いました。その都度、地区の皆様からも復旧復興の為の支援とお見舞をしていただきました。

災害は忘れた頃にはやって来ません。忘れなくとも次から次に色々な形で襲って来る時代に入ってしまったようです。この教訓をもとにロータリアンとして相互扶目の心で、自然災害に対する準備を常に備えておかなければならないと、深く考えさせられました。

国際ロータリーでは国際協議会においてゴードン R. マッキナリー会長は、今ロータリーが世界の変化と共に変革している事、多様性の時代を向かえている事、創始者 ポール・ハリスが開設以来、何度も何度もロータリーの歴史は書き換えられて今が有る事、そして現在、世界の紛争や自然災害、人口減少等の問題をかかえている中でもロータリーは世界の平和、人々の幸せを考えその実現にむけて未来を想像して行動して欲しいと求められていました。

当 2560 地区においては地区の運営方針「クラブの活性化」を中心にして、公式訪問では 54 クラブ全てを回らせていただきました。このほとんどのクラブで、今後のクラブの会員減少に不安を持っているとの話が出ました。その上でクラブ格差、分区格差等の問題が起きている事も再認識をしました。

地区もこの重要な課題に本気で向い合いました。会員増強、戦略計画・広報公共イメージ委員会・危機管理委員会・それに新たに地区研修委員会を立ち上げ、地区とクラブが一丸となって取り組み、まだ道半ばではありますが会員減少は止っています。少しずつでも成果が出て来ているのではないかと

と思っております。

私はノミニー・エレクト・ガバナーの三年間、本当に大勢の方々との出会いと素晴らしい交流の機会を持たせていただき、大いに勉強をさせていただきました。様々な経験を通して増々ロータリーの奥深さも感じる事が出来ました。私が特に印象深く参考になったのは、同期ガバナー会の代表でもある宮崎陽一郎氏（東京三鷹 RC）の事です。

彼はポリオ根絶キャンペーンに「チャリンコガバナー」として自ら行動をし、全国縦断や横断を成し遂げ、地区内外のロータリアンを鼓舞し続け大きな寄付も集めました。

彼の地区テーマ「行動しなけりゃ意味ないよね」を形として見せてくれました。後になって聞いた話ですが、好きな飲酒も断ち食事管理し、かなりのストイックな生活をされていたとの事です。ロータリアンとしての彼の言葉と行動に感銘を受けました。

結びに、2560 地区全てのクラブとロータリアンの皆様から熱い友情をいただきながら、無事にガバナー年度を過ごす事が出来ました。ロータリーファミリー、事務職員の皆さんにも大変お世話になりました。改めて感謝いたします。ありがとうございました。地区各クラブそしてロータリアン一人一人の皆様の更なる発展を祈念してお礼の言葉とさせていただきます。





米山年度を振り返って

2023-24 年度 地区幹事

石黒 隆夫 (三条北 RC)

この度、米山年度を無事終える事ができました。米山年度に協力いただいた 2560 地区全ての会員と関係者の皆様に深く感謝申し上げます。米山年度のスタートは前年のエレクト年度の第一回ガバナースタッフ会議でコロナ感染者が発生するなど波乱のスタートでした。その後徐々にコロナに関する規制は緩和され 5 類に移行しガバナー公式訪問は地区 54 クラブ全て直接訪問する事ができ、地区研修・協議会、地区大会はフルサイズでの開催ができました。特にガバナー公式訪問では温かいお出迎えをしていただき懇談できたことは各クラブの特徴を知ることができとてもありがたく、そして印象に残りました。

各委員会が活動をコロナ以前に戻す計画をされると物価上昇も伴い今までの予算では活動できない厳しい状況でしたが諸先輩方のアドバイスにより何とか要望に近い予算を作ることができました。また、毎年発生する災害に関して米山年度では秋田豪雨、能登半島地震、台湾地震で皆様から迅速な支援をいただきました事に改めて厚くお礼申し上げます。

ガバナー輩出クラブ三条北 RC では 4 大大会の開催はもちろん米山ガバナーを応援する証としてロータリー財団と米山奨学の一人当たり寄付額地区内 1 位を目指し達成する事が出来ました。クラブとしても素晴らしい体験をし、大きな財産を得る事ができました。

地区幹事としては米山年度は高橋年度の新潟 RC と南雲年度の長岡 RC に挟まれたプレッシャーのかかる年度でしたが、高橋年度では諸問題を解決され、また運営しやすい前例を作ってバトンを渡していただきました。南雲年度は研修委員会の発足によって十分な準備がされたので安心してバトンを渡すことができ恵まれた地区幹事でした。

去る 6 月 29 日三条市銭心亭おゝ乃 に於いて米山年度感謝の集いを開催いたしました。米山年度を支えていただきました役員と関係者の皆様と一堂に会し米山ガバナーから南雲ガバナーエレクトへの地区旗引き渡しを行い、お互いの労をねぎらい楽しい時間を過ごさせていただきました。

地区幹事スタート時は不安だけでしたが私のできない事は全て周りの方々がロータリーの心で助けていただき、1 つの仕事を終えるたびに友情を深める事ができました。

最後に米山ガバナー、私を地区幹事に雇っていただきありがとうございました。



米山年度を振り返って

2023-24 年度 地区財務委員

石川 勝行 (三条北 RC)

振り返ってみますと、COVID-19 感染症の収束に伴うロータリー事業活動の活発化により、予算と実績の乖離が著しい財務取引や参考となる前期実績のない財務取引等が多数出てきました。このような状況の中で対応し、無事に米山年度の終了を迎えることができました。

財務としましては諸物価値上がり、各委員会活動の活発化並びにガバナー事務所移転等に際しての予算編成や実績集計等の数値の拡大要請は当然のことと言われました。地区財務委員として、予算編成と執行を無事終了することが出来たのは、ガバナーをはじめ地区役員並びに地区事務所スタッフの皆様のご協力によるものと深く感謝いたします。

米山ガバナーの地区運営方針「ロータリーの心で友情を深めよう」のもと、ガバナー訪問も全クラブに行われ、PETS、地区協、地区大会等も盛大に無事できました。米山年度最終の 2024 年 6 月 29 日（土）に開かれた諮問委員会及び感謝の集いでは参加された地区役員等の皆様方から、「予定通り無事終了できました。」ことを聞き、これも全ての関係各位のご尽力とご指導等によるもので財務委員としてもありがたく感謝申し上げます。

各クラブ会長・幹事さんをはじめ、会員の皆様には多大なるご協力とご指導ありがとうございました。皆様に厚く御礼申し上げます。





米山年度を振り返って

2023-24 年度 第 1 分区ガバナー補佐

長谷川 寿一（新発田城南 RC）

ガバナー補佐としての年度を実り豊かなものとするためには、地区の指導者と協力しながら、指定された担当クラブを支援することが重要な責務と思っていました。それには先ず、クラブ現況報告書でクラブの様子を把握したうえで、第 1 分区 9 クラブを訪問し、まとめた資料をガバナーにお渡しするようにしました。

米山ガバナーには、① 新規会員数各クラブ 10% 増。② 女性会員割合各クラブ 20%。③ ロータリー財団寄付年次基金 150 ドル。④ ベネファクター 10 名以上。⑤ ポリオプラス寄付 30 ドル。⑥ 米山記念奨学寄付 2 万円という 6 項目の数値目標があります。

まずこの数値目標について各会長にお聞きしたところ、会員増と寄付については「がんばります」と、どのクラブからも自信を窺わせる回答がありました。

ところが女性会員割合についてはなかなかハードルが高く目標に達しないことが多く見受けられました。女性も様々な分野で活躍している今であるからこそ、一人でも多くの方を迎え入れるべく、ロータリーの理念・魅力を会員皆で広くお伝えしていくことが大事であると感じました。

また、同じ域内で例会の進め方が違うのも興味深かったことです。

食事時間の取り方、司会を誰が行うか、また進行内容について、そしてメーキャップ料の違い、委員会組織の違いなど、各クラブそれぞれに特徴があり得意分野があることもよく分かり勉強になりました。

それにしてもガバナー補佐の任務は思っていたより大変でした。9 クラブへの事前訪問後、再度ガバナーに同行しての訪問等で合計 36 回のクラブ訪問でありました。その合間に自分なりに見聞し、ガバナー宛に資料を作成する。皆様のご協力もありましたが、よくやり遂げられたと思います。

任務の間、訪問していくことにより交流が深まって親睦会にも参加するようになり、この機会に得たものはとても多かったです。やはり人との交流が本当に財産になるのだとあらためて実感いたしました。



米山年度を振り返って

2023-24 年度 第 2 分区ガバナー補佐

田村 修 (新潟西 RC)

ゴードン・マッキナリー国際ロータリー会長は「世界に希望を生み出そう」(CREATE HOPE IN THE WORLD)という標語を2023-24年度の活動テーマに掲げ、同様に米山ガバナーも「ロータリーの心で友情を深めよう」という地区方針をテーマにされました。

この一年を振り返ってみますと、米山ガバナーはまずエレクトとして2年ぶりにオランダの国際協議会に出席され、帰国後から本格的に活動を開始されました。

ガバナー補佐としての私の活動も、昨年1月28日の地区運営会議を端緒として始まりました。

第2分区では毎年2月にロータリー創立記念日を祝う合同例会が行われており、昨年は2月22日に新潟北クラブの主催でANAクラウンプラザホテル新潟にて開催されました。この当時はまだコロナ対策としてテーブル上にアクリルスタンドが置かれていた時分であり、主催者の皆さんもホテル側も感染対策に苦心されていたことが印象に残っています。

しかし、米山ガバナーは3月にPETS・5月に地区協議会を無事に遂行され、その後コロナ感染症が5類に移行したことも幸いして、7月にはクラブ公式訪問をフルスペックで慣行されました。

第2分区でも、7月19日の新潟南クラブを皮切りに公式訪問が始まり、8月31日の新潟西クラブを最後に、無事訪問行事を慣行することが出来ました。とりわけ公式訪問では当初からガバナー歓迎会が催される等、3年半の長きに及ぶ活動自粛から解放され、各クラブが新たな意気込みで活動に取り組む姿を、まじまじと感じさせていただきました。

第2分区のIMは9月2日に開催され、越後ときめき鉄道社長・鳥塚亮氏をお招きして「ローカル鉄道を上手に使って地域活性化」と題する基調講演を行っていただき、続く懇親会ではバイオリンとピアノの演奏を聞きながら、終始和やかな雰囲気で行うことができました。

10月21日にはライラ研修が行われ、11月5日には地区大会が盛大に行われました。

翌2024年は元旦から能登半島地震に見舞われ、新潟市でも西区や中央区で甚大な被害をこうむることとなりました。米山ガバナーも被害状況に大変心を痛められ、石黒地区幹事から連絡を受けて、早々に視察に入られたとのことでした。この他にも、新潟南クラブは新潟市に対して率先して寄付活動を行い、現在ガバナー賞にも推薦されております。

そして今年も2月に合同例会等から次年度のガバナー補佐に引き継ぐべく会長幹事会にも出席し、この一年間のお礼を申し上げさせていただきましたが、折悪しく私自身、震災の被害にあった西区と

中央区で事業を営んでおります都合上、計3回しか各クラブを訪問できず、つくづく心残りを感じている次第です。

結びに、この一年間、各クラブの会長・幹事をはじめとする関係各委員会の皆様、そして第2分区約450名の会員の皆様に感謝致します。至らぬ点多々ありましたが、本当に貴重な経験をさせていただきました。

米山ガバナー始め地区幹事や役員、そして三条北クラブの会員の皆様、本当にお世話になりました。あらためてこの場を借りて、お礼申し上げます。ご協力いただき大変ありがとうございました。





米山年度ガバナー補佐を振り返って

2023-24 年度 第3 分区ガバナー補佐
山田 道夫 (新津中央 RC)

2022 年 11 月 8 日の第 1 回ガバナー補佐会議がガバナー補佐としての最初の一步でした。歴代ガバナー補佐の活動対応を第三者的な立場で見えてきましたが、いざ私自身が補佐となり何をなすべきか色々頭を捻りました。まず第一に会議等は全て出席を義務化とし、特に第 3 分区の全ての会員の名前と顔を一致させ、積極的に私の方からコミュニケーションを図る事を実行しようと考え、各クラブ訪問を重要視しました。各クラブは各々に地域性があり、クラブ特有の活動等種々紹介され、中でも会員増強の独特の戦略を持って実行しておりました。全てのロータリアンの大きな課題としての行動力が問われているのかも知れません。

今年度の方針では、高橋年度から米山、南雲年度の 3 年間を通して地区研修委員会の運用を目指すと報告されておりましたが、当年度においてはラーニング委員会の名称で地区役員の推挙の依頼文が 1 枚 FAX (メール) で送信されてきました。その際、地区研修委員会と違う組織が立ち上がったのかと思われました。各クラブ訪問時に地区研修委員会の意義、目的についてどの程度浸透されてきているのか聞いてみましたが、今一つ疑問が残りました。この様なケースは余り良い状態とは言えず、より一層「上意下達」「下意上達」という連携を常に密にし、趣旨内容文を何度でも添えて丁寧に対応して頂けたら良かったと思っております。

又、クラブ協議会については、例年と同じスタイルで行われると思っていたところ、6 月上旬迄明確な方針が示されず、事前のクラブ訪問の際にクラブ協議会をガバナー補佐の方で開催して下さいとの指示があり、米山年度のガバナー補佐 7 名全員が驚き戸惑ったという経緯がありました。持続可能な変化は当然ではあるが、基本的な事項は絶対残すべきで、DEI を一つの基盤として今後もロータリー活動を楽しみたいと思います。今思うと種々な意義ある経験とロータリーの心で得た多くの友人、全てが私の大きな財産になったと思っております。ロータリー最高！全てに感謝！ありがとうございました。



感謝

2023-24 年度 第4 分区ガバナー補佐
小出 和子 (三条東 RC)

7月より分区内の11クラブを訪問し、米山ガバナーの方針、数値目標などをお伝えしました。同時に各クラブの会長方針や活動状況などをお聞きしましたが、どのクラブも職業奉仕はもちろんのこと、青少年や障がい者、あるいは高齢者等への奉仕活動や様々な社会奉仕活動を継続的に行っており、地域貢献を通してロータリーの認知度の向上に努めているとともに、会長は会員の皆様と、数値目標達成のために一生懸命取り組んでくださいました。

9月末のIMでは、多くのロータリアンからご参加いただき、マッキナリー RI 会長が重要視されている「メンタルヘルス」に関する講演会を行い、経営者としてメンタル不調者の見極め方や対処法など、役に立つお話を聞いていただけましたことと思います。

また、クラブ訪問の際に女性会員から要望があったことから、交流会を初めて実施し、多くの女性会員よりご参加いただきました。皆さんはすぐに打ち解けて、とても気持ちよく楽しい時間を過ごしました。今後も情報交換の場として交流を続け、女性会員の拡大につながることを願っております。

今振り返ってみますと、ガバナー補佐として多くのロータリアンとお会いする機会をいただいた上に、ガバナースタッフ、ガバナー補佐スタッフ、そしてロータリアンの皆様のご協力のお陰で、とても楽しい一年を送ることができました。本当にありがとうございました！

今後の各クラブの発展と皆様のご活躍をお祈り申し上げます。





米山年度を振り返って

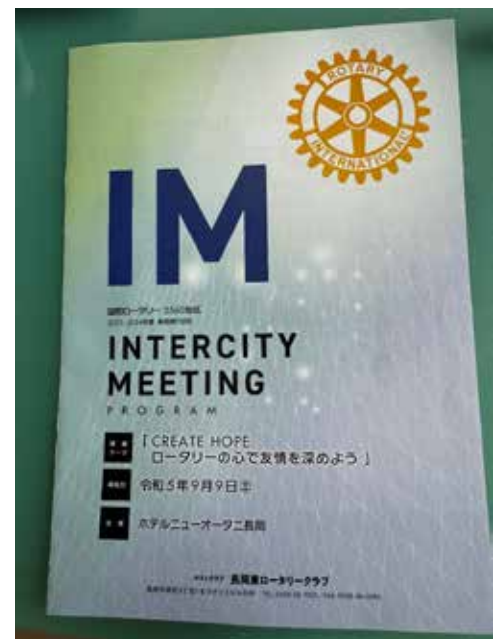
2023-24 年度 第5 分区ガバナー補佐
原 信博 (長岡東 RC)

第5 分区は、長岡市内 4 クラブ、柏崎市内 3 クラブの計 7 クラブで構成されています。米山ガバナーは会員相互の親睦に非常に想いが強いと感じておりました。2560 地区の活動は活性化させていかななくてはなりません、その土台となるのが、クラブの活性化であります。クラブが元気になるためのお手伝いを分区の活動のメインにしていきたいと考えておりました。

分区のメイン活動が「インターシティミーティング (IM)」です。米山ガバナーが掲げた地区ターゲットは「ロータリーの心で友情を深めよう」でした。あまりに完璧な文言でありましたので、IM のテーマは「CREATE HOPE ロータリーの心で友情を深めよう」と踏襲するカタチで決めました。コロナが 5 類となって、リアルな交流を楽しむ設えをしようと、2 部懇親会のアトラクションはあえて手作りで出し物を行いました。伊丹敏彦実行委員長がノリノリでコントを演じていただき、感動ものでした。最後は「手に手 つないで」の息の合った大合唱で幕を閉じました。

第5 分区は柏崎と長岡でそれぞれのエリアごとの交流にとどまっており、分区としてまとまったの活動は行ってきませんでした。そこで第5 分区初となる「ゴルフコンペ」を企画しました。普段あまりゴルフをなさらないメンバーも「このような会があるなら参加するよ」と言っていたいただき、各クラブから平均 2 組の参加がありました。夜のパーティーも笑顔あふれる交流の場となりました。

第5 分区の皆様の温かい友情に支えられて、素晴らしい一年間を過ごすことができました。本当にお世話になりました。ありがとうございました。





米山年度を振り返って

2023-24 年度 第 6 分区ガバナー補佐
庭野 昭二 (十日町北 RC)

2022 年秋のガバナー補佐会議の活動が始まりました。会議では、米山ガバナーをはじめ、地区役員の方々、各分区のガバナー補佐の皆様が、お互い初対面であったため、非常に緊張しました。ここ 3 年間はコロナ感染蔓延のため、世間もロータリーも活動が停滞気味でしたが、この会議の挨拶で米山ガバナーから、「今年はロータリーの行事はすべて対面で行います。また全クラブを訪問します。」という力強い決意表明をいただき、私もその熱意に応えなければと意気込みました。

私は、第 6 分区内での最初の活動だった会長幹事会で、ガバナーの上記活動方針をお伝えし、また、「ロータリーの心で友情を深めよう」という地区方針を実現する活動として分区内の交流を図りたいという話をしました。さらに、私は、7 月からはガバナー補佐として分区内の各クラブを訪問し、同じような話をさせて頂きました。大小のクラブがあるなかで、それぞれのクラブが目標を持ち生き生きと活動されていると感じました。どのクラブもガバナー補佐をあたたかく迎えてくれて有難かったです。その後、私は、事前訪問と公式訪問とを合わせて各クラブへ 3、4 回ほど訪問させて頂きました。

8 月末には、雪国魚沼 RC 会長より、自クラブから 2026-27 年度ガバナーを擁立したい旨のお話がありました。第 6 分区からガバナーを擁立することは 12 年ぶりのことだったので、最初は何も分からず、ガバナー事務所に問い合わせたり、再度会長幹事会を開いたりして、第 6 分区としてガバナーへの今後の協力をお願いしました。様々な方のお力添えもいただいた結果、1 月の指名委員会に於いて、富山洋様が、ガバナーノミニージェグネートとして正式に指名されました。

活動を振り返ると、ガバナー補佐という役は相談するスタッフや幹事がいるわけではないため一人で判断することが多くて悩むこともありましたが、とても良い経験ができました。ロータリーは大会や委員会等の会合が多く、ガバナーの地元の会員の皆様は準備や運営等大変だったことをお察し申し上げます。ガバナー補佐の役をいただいてから私は、多くの人に会い、色々な経験をし、ロータリーの素晴らしさをあらためて知り、忙しく充実した一年間を過ごすことができました。皆様のご協力をいただき、無事任期を終えることができましたことに感謝申し上げます。



米山年度を振りかえって

2023-24 年度 第7 分区ガバナー補佐
前川 秀樹 (直江津 RC)

8年振りに直江津 RC に回ってきたガバナー補佐、酔った勢いで了解した私でしたが、8年前はクラブ会長をやっていて、ガバナー補佐のバックアップをちゃんとやっていなかった積年の思いがぶり返し、独りでの空回りにならないかと心配でしたが、本当に直江津クラブの皆さんの絶大なる協力とまとまりで、無事に重責を終えることが出来たことに感謝をするばかりです。

コロナ禍で3年間は主たる行事は中止、公式訪問のやり方も大きく変ったので、思い出しながら、また手探りのように行事やクラブ訪問を進めましたが、コロナ禍後ということで変化するには良かったのかもしれませんが。

分区内クラブ訪問も各4回、ガバナー補佐研修会などと、今までにない自クラブ以外の方との会話や各クラブの例会進行の違い、ロータリーの全国セミナー勉強等と今までにない経験が新鮮でもありました。また世界大会での7分区の37名の懇親会など多くの思いでなど、私のロータリー歴の忘れない1年であったのは間違いありません。

また、他分区ガバナー補佐の方々や地区幹事を初めとする米山年度幹部の方らと知り合い懇親を重ねられたことも大きな収穫であったと感じます。

まだあと何年かはあるだろう私のロータリアン活動と、後に続く直江津 RC メンバーへの少しながらの助言などに役立てたいと思います。

1年間の米山ガバナー年度に感謝申し上げます。





会員増強・戦略計画・広報公共 イメージ向上委員会

2023-24 年度

委員長

石本 隆太郎 (新潟 RC)

2022-23 年の高橋ガバナー年度より、会員増強・戦略計画・広報公共イメージ向上委員会委員長を拝命しまして、2 年目の 2023-24 年の米山ガバナー年度が終了したところで、7 月 20 日に開催した「クラブ活性化セミナー」の際に配布した「RI2560 地区・クラブ別会員数対比表：会員増強クラブ別健康診断書」を基に総括いたします。

地区全体の会員数の動向について

- 1・2020-21 年の佐藤ガバナー年度から、2022-23 年の高橋ガバナー年度までの地区全体の会員増強状況は、2 年間で 116 名減となり、新型コロナウイルスの蔓延が、当地区の会員増強にも大きな影響を与えたことをハッキリ示しています。
- 2・米山ガバナー年度がスタートした 2023 年 7 月 1 日現在の地区全体の会員数は 1,990 名で、高橋ガバナー年度の 1,958 名に比べて 32 名の純増となり、漸く、新型コロナ禍から脱出できたかと、喜んでおりました。
- 3・その後も地区全体の会員増強は順調に進み、2024 年 5 月末の会員数も 2,031 名で 41 名の純増となりましたので、2 年連続での大幅純増を期待しておりましたが、その後の僅か 1 ヶ月間で多くのクラブで退会者が続出したため、南雲ガバナー年度スタート時の会員数は、「1,990 名で、増減ゼロ！」となり、会員増強の難しさを痛感しました。
- 4・既に 2024-25 年の南雲ガバナー年度に入り 1 カ月余り経過して、3 年委員長としての最終年度に入りましたが、南雲年度では 2,000 名の大台突破を目指すと共に、南雲ガバナーの数値目標：新規会員増強 5% 以上に向けて、ガバナー月信に四半期毎に「会員増強・クラブ別健康診断書」を掲載し、各クラブの啓蒙に努めます。

当地区における女性会員の動向について

- 1・米山ガバナー年度における当地区 54 クラブ中、女性会員のいるクラブは 46 クラブで、柏崎中央クラブ 11 名、村上クラブ 9 名、新潟東クラブ、中条胎内クラブ、新潟万代クラブ が各 7 名。村上岩船クラブ、新潟南クラブ、直江津クラブの各 6 名が目立ちますが、一方において、女性会員ゼロのクラブも 8 クラブあります。
- 2・会員 1,990 名中に占める女性会員数は 168 名の僅か 8.43% に過ぎず、米山ガバナーが示された数値目標「女性会員 各クラブ会員数の 20% 以上」を達成するのは、かなり先のこととなりそうです。

若手会員の増強について

- 1・地方になるほど、ロータリークラブの基盤となる地域の人口は減少を続けており、又、既存会員の高齢化も進んでおりますから、クラブの持続可能性のためにも、地域における若年層への入会勧誘は最優先事項です。
- 2・「RI2560 地区・クラブ情報一覧表」を見ると、例会開催時間が 1 ~ 2 の例外を除いて、昼食を挟んで 60 分間というクラブがほとんどで、年会費も、一部の例外を除いて 200,000 円以上のクラブが大半です。
- 3・これは、日本のロータリークラブの起源が東京クラブで、当時のエリート集団が中心となって会員となり、週 1 回の例会は帝国ホテルを会場に会食するという習慣が全国的に通例となったからで、世界の中でも突出しています。
- 4・ロータリー活動の活性化を計るためには、新入会員対象者を女性や若手経済人等にも広げて会員増強を計り、仕事に支障をきたさない時間帯での例会開催や、負担にならない年会費等、抜本的見直しが必要です。

戦略計画や広報活動の重要性について

- 1・一昨年（2022）の PETS の際に行った「クラブ会長アンケート調査」では、例会時間の変更や、会費見直しを検討するというクラブは少数意見で、親睦重視のクラブが最も多いという結果でした。
- 2・「戦略計画」に取り組んでいるクラブは、現時点ではほんの一握りですが、成果が上がっていることは明らかであり、「ロータリーの 1 年交代人事制」等の壁を打ち破り、戦略（行動）計画に取り組むことが、クラブ活性化のカギです。
- 3・対内広報媒体としての「ロータリーの友」や「ガバナー月信」が、手間暇かけている割には有効活用されていないのが現状のようですし、世間一般からのロータリーの認知度を高め、イメージアップを図るためにも、SNS 等を活用した対外的広報手段の活用を、出来るだけ早く軌道に乗せることが望めます。以上

2024.7.20(土) RI2560地区:クラブ活性化セミナー用配布資料
2020-21(佐藤G年度)~2024-25(南雲G年度) 7月1日現在会員数対比表

会員増強用参考資料 (会員増強・クラブ別健康診断書)

2023.7.29地区活性化セミナー配布資料改訂版

作成責任者 石本隆太郎(新潟RC)

110%以上
105%以上110%未満
95%以上105%未満
85%以上95%未満
85%未満

		令和2年~令和3年				令和3年~令和4年				令和4年~令和5年				令和5年~令和6年				令和6年~令和7年											
		2020-21 佐藤ガバナー年度(S)				2021-22 高尾ガバナー年度(T)				2022-23 高橋ガバナー年度(U)				高橋G年度(U)-石本G年度(J) =直近10年間の会員数増減				2023-24 米山ガバナー年度(V)				2024-25 南雲ガバナー年度(W)							
		会員数				会員数				会員数				7月1日現在・会員増減数				増減率				会員数				会員数			
順位	RC名	7月1日 現在	女性 会員	S-R	S/R %	7月1日 現在	女性 会員	T-S	T/S %	7月1日 現在	女性 会員	U-T	U/T× 100=%	U	J	U-J	U/J× 100=%	7月1日 現在	女性 会員	V-U	V/U %	7月1日 現在	女性 会員	W-V	W/V %				
1	新潟南	98	3	-5	96	105	3	7	107	108	4	3	103	108	71	37	152.1	114	6	6	106	113	8	-1	99				
2	新潟田	95	0	4	104	93	0	-2	98	88	0	-5	95	88	79	9	111.4	89	1	1	101	88	1	-1	99				
3	新潟	88	2	4	105	82	2	-6	93	79	2	-3	96	79	77	2	102.6	78	3	-1	99	78	3	0	100				
4	直江津	71	7	7	111	69	6	-2	97	73	6	2	103	71	44	27	161.4	72	6	-1	99	73	6	1	101				
5	高田	76	5	17	129	72	5	-4	95	71	4	-1	99	71	69	2	102.9	68	4	-3	96	67	5	-1	99				
6	新潟東	63	9	9	117	62	8	-1	98	63	7	1	102	63	54	9	116.7	61	7	-2	97	62	7	1	102				
7	長岡東	58	3	0	100	52	2	-6	90	52	4	0	100	52	68	-16	76.5	54	5	2	104	60	9	6	111				
8	三条	60	0	4	107	56	0	-4	93	55	0	-1	98	55	52	3	105.8	53	0	-2	96	54	0	1	102				
9	三条北	60	3	0	100	58	2	-2	97	54	2	-3	95	55	66	-11	83.3	52	2	-2	96	52	3	0	100				
10	新潟西	38	2	1	103	39	2	1	103	38	2	-1	97	38	34	4	111.8	40	2	2	105	52	3	12	130				
11	長岡西	52	5	-2	96	50	4	-2	96	49	3	-1	98	49	38	11	128.9	48	3	-1	98	49	3	1	102				
12	中条	43	4	4	110	42	3	-1	98	44	3	2	105	44	35	9	125.7	48	3	4	109	49	3	1	102				
13	長岡	49	4	3	107	45	3	-4	92	44	3	-1	98	44	41	3	107.3	46	3	2	105	47	5	1	102				
14	柏崎	42	0	1	102	41	0	-1	98	40	0	-1	98	40	44	-4	90.9	42	0	2	105	45	0	3	107				
15	新潟田中央	45	4	-5	90	44	4	-1	98	45	4	1	102	45	46	-1	97.8	45	4	0	100	44	6	-1	99				
16	糸魚川	41	2	-1	98	42	3	1	102	42	3	1	102	43	36	7	119.4	43	3	1	102	43	3	0	100				
17	燕	36	3	3	109	34	3	-2	94	33	2	-1	97	33	26	7	126.9	39	2	6	118	42	3	3	108				
18	柏崎東	46	3	-2	96	45	3	-1	98	43	3	-2	96	43	43	0	100.0	40	2	-3	93	41	2	1	103				
19	新潟万代	43	7	4	110	41	6	-2	95	42	7	1	102	42	40	2	105.0	43	7	1	102	40	6	-3	93				
20	新潟田城南	44	4	-3	94	40	3	-4	91	38	3	-2	95	38	44	-6	86.4	38	4	0	100	39	5	1	103				
21	中条胎内	36	6	-1	97	35	6	-1	97	36	7	1	103	36	28	8	128.6	37	7	1	103	39	9	2	105				
22	村上	40	10	4	111	38	9	-2	95	39	9	1	103	39	35	4	111.4	39	9	0	100	38	9	-1	97				
23	佐渡南	40	5	-1	98	40	4	0	100	38	4	-2	95	38	44	-6	86.4	36	3	-2	95	38	3	2	106				
24	三条南	45	2	-3	94	44	2	-1	98	35	1	-9	80	35	48	-13	72.9	42	2	7	120	37	3	-5	88				
25	新潟北	39	0	1	103	37	0	-2	95	35	1	-2	95	35	36	-1	97.2	37	1	2	106	37	1	0	100				
26	柏崎中央	36	10	0	100	38	12	2	106	39	12	1	103	39	41	-2	95.1	36	11	-3	92	35	10	-1	97				
27	三条東	33	4	0	97	31	3	-2	94	32	3	1	103	32	38	-6	84.2	37	4	5	116	34	4	-3	92				
28	新井妙高	32	1	-1	97	31	1	-1	97	35	1	4	113	35	33	2	106.1	32	1	-3	91	34	1	2	106				
29	高田東	36	2	0	100	36	3	0	100	35	3	-1	97	35	36	-1	97.2	36	3	1	103	33	2	-3	92				
30	水原	30	1	0	100	32	1	2	107	33	1	1	103	33	21	12	157.1	31	1	-2	94	33	2	2	106				
31	白根	30	1	-1	97	29	1	-1	97	30	1	1	103	30	49	-19	61.2	32	1	2	107	31	1	-1	100				
32	分水	30	4	2	107	29	4	-1	97	29	4	0	100	29	32	-3	90.6	31	4	2	107	30	4	-1	97				
33	加茂	30	5	2	107	33	5	3	110	31	4	-1	97	32	38	-6	84.2	29	4	-2	94	29	4	0	100				
34	越後春日山	38	6	-2	95	35	5	-3	92	33	5	-2	94	33	43	-10	76.7	33	4	0	100	28	4	-5	85				
35	十日町	29	3	1	104	32	3	3	110	31	4	-1	97	31	32	-1	96.9	31	4	0	100	28	4	-3	90				
36	小千谷	28	2	-4	88	30	3	2	107	28	4	-2	93	28	33	-5	84.8	31	3	3	111	27	2	-4	87				
37	新潟中央	26	2	-2	93	22	2	-4	85	26	3	4	118	26	35	-9	74.3	26	3	0	100	27	4	1	104				
38	糸魚川中央	33	0	-3	92	28	0	-5	85	27	0	-1	96	27	36	-9	75.0	25	0	-2	93	27	0	2	108				
39	巻	24	2	0	100	25	2	1	104	25	3	0	100	25	14	11	178.6	27	3	2	108	26	2	-1	96				
40	村上岩船	31	6	3	111	28	5	-3	90	27	5	-1	96	27	23	4	117.4	26	6	-1	96	26	6	0	100				
41	雪国魚沼	24	3	-2	92	20	2	-4	83	25	3	5	125	25	22	3	113.6	26	3	1	104	26	2	0	100				
42	吉田	26	3	-5	84	28	3	2	108	28	3	0	100	28	37	-9	75.7	28	3	0	100	24	3	-4	86				
43	豊栄	23	3	0	100	20	2	-3	87	23	2	3	115	23	21	2	109.5	25	2	2	109	23	2	-2	92				
44	新潟中央	20	0	-2	91	21	0	1	105	18	0	-3	86	18	22	-4	81.8	22	0	4	122	23	0	1	105				
45	栃尾	24	0	2	109	25	0	1	104	22	1	-3	88	22	22	0	100.0	21	1	-1	95	20	1	-1	95				
46	見附	22	1	2	110	21	1	-1	95	21	1	0	100	21	16	5	131.3	20	1	-1	95	20	1	0	100				
47	新潟	17	0	-2	89	17	0	0	100	18	1	1	106	18	25	-7	72.0	15	1	-3	83	15	1	0	100				
48	津南	23	1	-3	88	16	1	-7	70	12	1	-4	75	12	25	-13	56.0	14	1	2	117	15	0	1	107				
49	村松	12	0	2	120	12	0	0	100	10	0	-2	83	10	7	3	142.9	12	0	2	120	15	0	3	125				
50	十日町北	21	2	-2	91	19	1	-2	90	14	0	-5	74	14	25	-11	56.0	15	1	1	107	10	0	-5	67				
51	田上あじさい	7	1	0	100	7	1	0	100	6	1	-1	86	6	5	1	120.0	6	2	0	100	6	2	0	100				
52	阿賀野川ライン	6	0	-3	87	6	0	0	100	5	0	-1	83	5	10	-5	50.0	6	0	1	120	6	0	0	100				
53	越後魚沼	6	0	0	100	6	0	0	100	6	0	0	100	6	12	-6	50.0	8	0	2	133	8	0	0	100				
54	佐渡	6	0	0	100	6	0	0	100	5	0	-1	83	5	14	-9	35.7	5	0	0	100	4	0	-1	80				
	五泉	12	1	0	100	11	1	-1	92	クラブ終結				クラブ終結	22	-22	クラブ終結				クラブ終結								
	頸北	11	1	-2	85	クラブ終結				クラブ終結				クラブ終結	16	-16	クラブ終結				クラブ終結								
	妙高高原	クラブ終結				クラブ終結				クラブ終結				クラブ終結	6	-6	クラブ終結				クラブ終結								
	地区合計	2,074	158	22		2,000	145	-74		1,958	150	-42		1,958	2,009	-51		1,990	156	32		1,990	163	0					
		女性会員 44クラブ				女性会員 43クラブ																							
		2020-21佐藤年度				2021-22高尾年度				2022-23高橋年度				高橋G年度会員数 - 石本G年度会員数				2023-24米山G年度				2024-25南雲G年度							
	7月1日現在クラブ数	56	44			55	43			54	44			54				54				54							
	7月1日現在会員数	2,074	141	22	101	2,000	145	-74	96	1,958	150	-42		1,958	2,009	-51		1,990	156	32		1,990	163	0					



お詫び

2023-24 年度 社会奉仕委員会
委員長

三本 進一 (見附 RC)

米山ガバナーから地区社会奉仕委員長の重責を委嘱いただきましたが、さまざまな個人的な事情により、地区社会奉仕セミナーの開催に至らなかったことをはじめ、その職責を全く果たすことができなかったことを米山ガバナーをはじめ地区役員の皆様、各クラブの会長・幹事・社会奉仕委員長の皆様に深くお詫び申し上げます。誠に申し訳ありませんでした。

各クラブにおかれましては、会長・幹事・社会奉仕委員長の皆様のリーダーシップにより充実した社会奉仕活動が進められたと確信しており、皆様方のご尽力に深く感謝申し上げます。

今後は入会時の気持ちに立ち返り、見附ロータリークラブの一員としてロータリ活動に取り組んでいきたいと考えております。

最後に地区と各クラブの益々のご発展をご祈念申し上げ、略儀ながら、お詫びとさせていただきます。





米山年度を振り返って

2023-24 年度 国際奉仕委員会
委員長

徳永 昭輝 (新潟 RC)

コロナ感染の影響が残る中で委員会の活動方針として「①海外の姉妹・友好クラブの交流の促進、②グローバル補助金を使った海外での奉仕プロジェクト活動の促進、③国際奉仕フォーラムの開催、④シンガポール国際大会への参加、⑤世界の平和の推進について考える」を活動目標にして活動を行いました。

1. 令和5年8月20日(日)ANA クラウンプラザホテル新潟で国際奉仕フォーラムディスカッションを開催し、海外友好・姉妹クラブ交流について新潟南 RC から台湾南屯 RC との国際奉仕活動について、三条 RC から新竹城中 RC との姉妹クラブ取り組みの経緯について、新潟 RC から東香港島 RC との姉妹クラブ取り組みの経緯、提携しての国際奉仕、香港島東 RC70 周年記念パーティーの参加などについて、
2. グローバル補助金活動について新潟中央から長年にわたるタイ国医療支援活動に取り組んでいて、地区内の多くにも活動への参加を呼びかけ、現在までに総額1億円の活動となっている、新潟西 RC 地区補助金奨学生と連携し地区内では初めての「活動分野」におけるタイ於けるグローバル補助金プロジェクトについて、高田 RC からはクラブ独自のスリランカにおける眼科医療支援活動やポリオ撲滅に向けた国際活動への参加について報告があり、特別企画としてグローバル奨学生の「遠藤悠；新潟 RC」から、奨学生としてアメリカに留学後、現在ジュネーブで国際感染症分野の研究に取り組んでいる」とのお話を聞くことができました。
3. シンガポール国際大会へは地区から48名が登録、委員会企画ツアーには米山ガバナー夫妻、高尾パストガバナー夫妻、室賀ガバナーエレクト夫妻が参加され17名が参加されました。5月26日(日)に現地のホテルで開催されたガバナーナイトには現地参加のロータリアン・家族30余名が参加されました。高尾パストガバナーの乾杯で始まり、会の終わりには埼玉 RC の同期ガバナーの表敬訪問もあり、多くのロータリアンとの交流の場となりました。

目標に掲げた委員会の活動方針に対してご協力いただいたロータリアンの皆様に感謝申し上げます。



**グローバル奨学生
遠藤悠先生**

奨学金でノースカロライナ大学チャペルヒル校
公衆衛生博士号取得

現在、
ジュネーブWHO本部
感染症の国際的流行の予防
プロジェクトチームで
国際的枠組み、システム構築



令和5年8月20日(日) 国際奉仕フォーラムディスカッション



令和6年5月25日~29日 シンガポール国際大会



笑顔あふれる青少年奉仕

2023-24 年度 青少年奉仕委員会
委員長

鈴木 映一 (新発田 RC)

インターアクト委員会・ローターアクト委員会・ライラ委員会・青少年交換委員会と4つの委員会から構成される青少年奉仕委員会ですが、一年を振り返ると、それぞれの小委員会が実に実りある活動をされていたと感じます。委員会の皆様には心より感謝いたしております。

私事ではございますが、これまでは青少年交換委員会に数年所属させていただいており、その他の青少年奉仕活動については、実はあまり理解が出来ておりませんでした。しかし大委員長をお任せいただきそれぞれの事業に参加してみて、心に残っている事は若者達の爽やかで清々しい笑顔に一年間囲まれてきたと言うことでした。

インターアクトでは台湾との国際交流は残念ながら中止となってしまいましたが、年次大会では最初こそそれぞれの学校毎にかたまっていたものの、プログラムが進行するにつれ、他の学校のインターアクターと一緒に、楽しそうに盛り上がっていました。テーマであった災害についてのそれぞれの意見交換も活発にされていたと思います。

ローターアクトでは、会員数の減少が最大の課題ではある中で、人数が少なれば地区内クラブ同士が横の連携を密にし、助け合いながら活動をしていたことに強い印象を受けました。また、若さならではの工夫もあり、我々ロータリアンも学ぶべき部分が多くあったと感じます。アクトに入ってから自分が成長し変わることが出来たと、嬉しそうに語っているメンバーも多くいました。

ライラ研修では、コロナ禍明けで手探りの中、今年度は一日のみの開催となりました。午前、午後共に講師を招いての講演会であったため、開催前は参加者が退屈してしまうのではという不安もありましたが、委員会の皆様とホストを務められた新潟北クラブの皆様が、参加者に是非聞かせたいとの熱い思いで計画されていたこともあり、非常に充実した研修会になったと感じます。

青少年交換では本年は長期交換が1名、短期交換が2名となり、数年ぶりに交換を再開することが出来ました。そして次年度派遣に向けてのオリエンテーションでは、委員会の皆様一丸となって素晴らしい運営をされていました。また、今年度から新潟のROTEX会も発足され、オリエンテーションなどで派遣学生や交換学生へのアドバイスやケアなど活躍されていたのも印象的でした。

若者が笑顔で充実した活動が出来る。そんなロータリーの青少年奉仕プログラムは本当に素晴らしいもので、関わってくれた若い方々が成長する姿を目の当たりにすることが出来た、素晴らしい一年間を送らせていただきました。支えていただいた米山ガバナーをはじめとする地区役員の皆様には心から感謝と敬意を表し、2023-24年度のまとめとさせていただきます。



米山年度を振り返って

2023-24 年度 インターアクト委員会
委員長

島村 元章 (新潟北 RC)

2022 年の年末に当時の関根青少年奉仕委員長より一本の電話を頂戴しました。本来、私は 2024-25 年度インターアクト委員長を務める予定でしたが、諸事情により一年前倒しでインターアクト委員長の任を仰せつかることとなりました。2022-23 年度の活動も COVID-19 の影響で制約されており、委員会の活動内容を十分に把握することの出来ないままに委員長の任に着くことになり、そうは言いながらも、新年度は少しでも以前のような活動が出来るように考えなければならず、大きな不安の中でのスタートとなりました。

年次大会では COVID-19 禍以前とは施設事情や経済状況も大きく変化していることを踏まえ思慮を重ね、近隣のインターアクターとロータリアンは宿泊を伴わない形として費用の削減に努めました。準備期間が短かったこともあり、結果として以前よりも参加者数が減少しましたが、対面形式での 2 日間大会が実施出来たことは、来年度より以前同様の形で実施するためのステップになったのではないかと考えております。また、提唱クラブ以外のクラブからも多くの協力をいただいたことにこの場を借りて御礼申し上げます。

一方で、台湾交流においては 2840 地区との話し合いの結果、今年度も中止することになり、インターアクターには申し訳ない気持ちでした。ただし来年度の交流再開に向けて台湾側との話し合いが必要との 2840 地区との協議により、両地区の担当者及び関係者で訪台してまいりました。来年度から台湾側の参加校が 2 校から 1 校となるため、どのような形で今後進めていくのか、また日台双方のロータリーの関わり方など密に話し合うことが出来、有意義な訪問となりました。加えて、私自身もロータリークラブ入会后、初の海外ロータリアンとの交流を経験でき、貴重な機会を頂戴したことに感謝いたします。

我々ロータリークラブは、今後もインターアクターの奉仕活動を支援し、またロータリー活動との連携により、多くの機会を設けることで、インターアクターの更なる成長の一助となります。提唱クラブはもとより 2560 地区全体としてインターアクト活動にご支援いただきますようお願いいたします。





米山年度を振り返って

2023-24 年度 ローターアクト委員会
委員長

安田 佳世 (直江津 RC)

米山ガバナー年度におきましても、ローターアクトの活動へご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。地区ローターアクトや各アクトクラブが考えた様々な活動に、ご参加やご支援をいただきましたことを大変嬉しく思っております。

私自身は3年間のローターアクト委員会、最終年は委員長を務めさせていただき、ローターアクトに所属する若い世代の皆さんの活動を一番近くで見られたことは、非常に幸せな経験となりました。活動を通して一番強く感じていることは、ローターアクトは素晴らしい！ということです。仕事のこと、家庭のこと、プライベートのこと、様々なことがある中で、社会のため人のために奉仕活動に取り組み、仲間を想って活動するアクトメンバーがたくさんいます。なぜこのような活動をするのか、自分自身で疑問に思うことや、他者から言われることもあるでしょう。しかし、この地域が大好きだ、社会や人のために活動するんだ、と動くことは恥ずかしいことじゃない、素晴らしい活動をしていることを誇りに思っています。そのような想いをアクトメンバーにも伝えて参りました。

ローターアクトが抱える課題はたくさんあります。ローターアクトの会員減少、それによる今後の各クラブの在り方、ローターアクトの地位向上による様々な課題、一方での地区補助金やグローバル補助金への挑戦などです。ローターアクトがこれらの課題にも果敢に取り組むことを期待し、またロータリークラブの皆さまにはスポンサーではなく、パートナーとして共にご協力いただきますことを、引き続きお願い申し上げます。





第 22 回ライラ研修を終えて

2023-24 年度 ライラ委員会
委員長

高木 豊隆 (新潟西 RC)

国際ロータリー第 2560 地区第 22 回ライラ研修会が第 2 分区新潟西ロータリークラブをホストクラブとして開催されましたこと、大変感謝申し上げます。

新型コロナウイルスの影響でここ数年研修中止を余儀なくされておりました。

今年は 1 日開催ではございますが、有意義な研修会にしたいと思い準備をしまいいりました。ライラで出来ること「特にリーダーシップの力を引き出すこと」

今年のテーマは「県民性をテーマに郷土愛を醸成し、郷土の人物に対する知識を深め、活躍できるリーダー像を学ぶ、自分の可能性を発見し行動へと繋げる方法を学ぶ」

テーマにふさわしいお二人にご講演いただき、研修生の方々には今後益々自分の可能性を広げていただきたいと記念し、ご挨拶とさせていただきます。





2023-24 年度を振り返って

2023-24 年度 青少年交換委員会
委員長

坂上 彰平 (豊栄 RC)

2023-24 年度から正式に青少年交換プログラムを再開し始めました。

米山ガバナーがガバナーエレクトの時からお願ひしていましたが、なかなか OK をもらえませんでした。前年度の青少年奉仕委員長の関根さんと一緒に三条北クラブに、お願ひにあがったのが懐かしく思います。

長期派遣、短期派遣の募集の案内文を各クラブに送りました。長期派遣 1 名、短期派遣 2 名を派遣する事ができました。

参加するクラブが安心して派遣学生を送り出せるように今後も手伝ひをしていきたいと思ひます。

2024-25 年度派遣学生もオリエンテーションが無事に終了いたしました。

このプログラムが全て無事に終了するよう願ひっております。





2023-24 年度を振り返って

2023-24 年度 ロータリー財団委員会
委員長

佐藤 真 (村上岩船 RC)

地区ロータリアンの皆さまには、日頃よりロータリー財団委員会活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。「世界でよいことをしよう」という標語を掲げロータリー財団は世界で活動しています。その使命は「ロータリアンが人々の健康状態を改善し、質の良い教育を提供し、環境保全に取り組み、貧困を無くすことを通して、世界理解、親善、平和を構築できるように支援すること」です。その使命を胸に米山年度も委員会活動を実施してまいりました。皆様に感謝申し上げるとともに、今後も変わらぬご支援をお願い申し上げます。

【2023-24 年度委員会報告】

1. 委員会活動

- ・ 7/22 地区補助金オリエンテーション、8/26 第1回財団セミナー、2/17 第2回財団セミナー & 補助金管理セミナーを開催し、地区補助金、グローバル補助金やロータリー財団についての理解に努めました。
- ・ 11月のロータリー財団月間には委員が手分けして多くのクラブで卓話を行いました。
- ・ 11/4-5 地区大会においてブースを設置しポリオ根絶にむけたPR活動を実施しました。
- ・ 11/25 財団・米山感謝の集いを開催し、高額寄付者に感謝状を贈り、財団・米山の活動にあらためて理解とご協力をお願いしました。
- ・ 6/16 に学友会総会を実施し、皆さんから貴重な体験談を伺いました。
- ・ 年間7回の財団ミーティングを実施し、情報の共有やセミナー等の準備やプロジェクト進捗状況等の打合せ等を行いました。

2. 地区の寄付実績 (令和6年7月24日)

- ・ 年次基金 119.89ドル/人 ポリオプラス 25.56ドル/人
- ・ 地区内の全クラブから年次基金の寄付をいただきました。(ゼロクラブ・ゼロの達成)

3. 地区財団活動資金（DDF）報告

☆地区補助金：36 クラブから 36 件の奉仕プロジェクトが実施されました。

☆グローバル補助金：3 件の奉仕プロジェクトを採択しました。

- ・村上岩船 RC：カンボジア「シムリアップ州立病院電子カルテ導入プロジェクト」
- ・新潟中央 RC：タイ国「疾病の認識・予防教育・治療」
- ・新潟万代 RC：タイ国「ビジョン ケア プロジェクト」

☆寄付：ポリオプラスに 2 万ドル、ロータリー平和フェローシップに 1 万ドルを寄贈しました。





2023-24 年度を振り返って

2023-24 年度 米山記念奨学委員会
委員長
渡邊 嘉子 (新津中央 RC)

第 2560 地区の皆様におかれましては、米山記念奨学委員会活動にご理解・ご協力をいただきまして誠にありがとうございました。

2023-24 年度は新規 16 名・継続 8 名合計 24 名（10 カ国・8 大学）の奨学生を受入れスタートいたしました。これも皆様からのご寄付のお陰でございます。そして彼らに寄り添い心身ともに支えてくださったカウンセラー・世話クラブの皆様、お引き受けそしてお世話していただきありがとうございました。皆様のご理解とご協力に感謝し御礼を申し上げます。ありがとうございました。

米山ガバナーの下、米山委員会一丸となって日本に勉学のために来日している留学生に安心して勉強する環境を整えられるよう、またロータリアンと交流できるよう活動して参りました。

〈活動内容〉

- ・ 8 月 5 (土) ~ 6 日 (日) 第 3 回世界米山学友による世界大会「再会 IN 関東」
- ・ 8 月 8 日 (火) 大学担当者向け米山奨学制度説明会
- ・ 8 月 27 日 (日) ~ 28 日 (月) 米山記念奨学生親睦交流会
- ・ 10 月 7 日 (土) 第 1 回米山記念奨学委員長セミナー
- ・ 11 月 11 日 (土) 米山記念奨学生学友会総会
- ・ 11 月 25 日 (土) 面接官オリエンテーション
- ・ 11 月 30 日 (木) 下山中学校との交流会
- ・ 12 月 23 日 (土) 学友会主催クリスマス会
- ・ 12 月 23 日 (土) 米山奨学生書類選考会
- ・ 1 月 13 日 (土) 米山記念奨学生面接選考会
- ・ 2 月 3 日 (土) 第 2 回米山記念奨学委員長セミナー
- ・ 3 月 2 日 (土) カウンセラー研修会
- ・ 4 月 22 日 (土) 米山記念奨学生オリエンテーション・歓迎会

今期はまず8月5日から6日につくば市で開催された世界米山学友による世界大会「再会 IN 関東」に参加しました。世界各地から集まった米山学友の活躍・活動を見聞きし、米山記念奨学事業の意義深さをあらためて感じました。

2560 地区内では8月8日の大学担当者向け米山奨学制度説明会から米山ガバナー年度の委員会活動が始まりました。

8月27～28日には米山奨学生親睦交流会を会津で行い、当日は35度を超える猛暑日となり汗をかきながらの2日間となりました。奨学生・カウンセラー・ロータリアンと意見交換や交流をしながら親睦を深め楽しく意義のある親睦交流会となりました。

また当地区では昨年度に引き続き下山中学校との交流会・クリスマス会等行事を行い友と奨学生の交流も盛んに行い、奨学生卒業後も交流をしていけるよう活動いたしました。

米山記念奨学生を受入れ、事業ができたのも皆様からの心のご寄付、協力のおかげでございます。寄付増進に努めていただきましたクラブ会長及び米山奨学委員長はじめ、ご寄付・ご協力いただきましたロータリアンの皆様へ感謝申し上げます。今後とも引き続き皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

また、地区米山委員の皆様にもお忙しい中、委員会活動にご協力いただき支えて頂きました。皆様のおかげで1年間活動できました。感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

最後になりますが、1年間ご支援いただきました全てのロータリアンの皆様へ御礼を申し上げて、ご報告とさせていただきます。ありがとうございました。







2023-24 年度 米山年度を振り返り

2023-24 年度 ロータリー地域協働ネットワークセンター
センター長

清水 信博 (高田東 RC)

2023年7月からの米山年度での最大な出来事で言えば、2024年1月1日に発生した能登半島地震でありましょう。震源地である能登半島の皆様の生活は、7か月経過した現在でもご苦労されている事と存じますし、ここをエリアとする RI 第 2610 地区のロータリーの皆様も復興に向け、ご努力を続けていると思われまます。

一方、我が第 2560 地区においても新潟市西区や上越市直江津地区をはじめとする新潟県内でも被災された方も多々おられます。被害に遭われた全ての皆様の一日も早い復興と日常生活に戻られる事を願わずにはられません。

昨年度、高橋年度において発生した 2022 年 8 月の村上市を中心とする県北水害時では、センターがどう対処すべきだったか。地区役員や被災クラブとの情報交換は、どのように行っていくべきか。等、多くの反省点を検証したわけではありますが、今回の地震に生かされたのかどうか。今回も検証しなければなりません。

完全ではありませんが、経験値が生かされてきたように思われます。

被災状況をガバナー補佐の皆様が中心になり状況把握に努め、センター・地区と情報共有が発災から時間をそれほど要さずに出来た事。また、今年度・次年度ガバナー、地区幹事の皆様との合同会議を早い時期に設ける事が出来、現在の当地区の被害状況の把握はもちろんの事、震源地である第 2610 地区での状況把握や今後の対応を短時間で協議できた事など、です。

当地区は震源地でなかったため、甚大な被害が少なかった事もこれらが短時間で遂行できた理由の一つではありますが、それでも、当センターの存在意義が大きく感じられたのではないかと考えています。

防減災セミナー等、平時の事業を開催し、メンバーの防災意識を高揚する事を目的としながら、今後も起こりくる各種災害に対し当センターがリーダーシップを発揮し、ガバナーをはじめガバナー補佐、地区役員との情報共有をしながら、対応策を協議していかねばなりません。

関係された全てのロータリアンに感謝申し上げますと共に、今後は大きな災害が無い事を切に願いたいと思います。一年間、ありがとうございました。



地区研修委員会から地区ラーニング委員会へ 米山年度を振り返って

2023-24 年度 地区ラーニング委員会
委員長

佐藤 真 (村上岩船 RC)

この月信が発行されている8月は、既に南雲年度が始まって2ヶ月経過している頃だと思えます。米山年度で施行された「地区研修委員会」は、南雲年度へステージを移し「地区ラーニング委員会」へ。

当地区には、国際ロータリーが必須とする5つの委員会のひとつ、地区研修委員会（地区ラーニング委員会）が存在せず、研修の実施運用と受講する素地が薄く、そのためにロータリーに対する知識不足やクラブ独自の進化により、時として問題を引き起こす要因のひとつと考えられております。高橋年度で提言された当委員会では、米山年度で施行にあたり、まず南雲年度のガバナー補佐研修パート1、続きパート2を実施しのちにガバナー補佐各位の強い要望によりパート3を実施し想定以上の効果を体験いたしました。クラブ会長幹事においても次年度の準備は、PETSがスタートであり不安なまま、当該年度を迎えることが通例でした。12月に開催されたクラブ会長幹事研修は、心と知識の準備を行い、既に顔合わせしたガバナースタッフや同期クラブ会長幹事と共にPETSに参加することで有意義な時間を共有出来たと実感しております。

その他にも、形骸化していた「地区チーム研修セミナー」もガバナー補佐と地区委員会委員長が参加し国際協議会から帰国したガバナーエレクトから次年度のRIテーマおよび地区方針を共有し地区リーダーとして心を一つにすることが出来ました。また、例年パストガバナー輪番で「地区研修リーダー」を行なってまいりましたが、「研修」から「ラーニング」へ移行することもあり、高橋パストガバナーが3年任期で地区研修リーダー（地区ラーニング・ファシリテーター）として益々スキルアップした地区ラーニングを実施することとなりました。

米山年度で「施行」以上の成果をあげることが出来、南雲年度で「運用」そして室賀年度では「継続」するように地区ラーニング委員会として更なるステップアップをしてまいります。

ロータリー財団寄付 (\$)

ロータリー米山記念奨学会寄付 (\)

Main data table with 4 major columns: District, Club Name, Rotary Foundation Donation (\$), and Rotary Onoda Memorial Scholarship Association Donation (\). Includes sub-headers for membership counts and financial data for 2023-2024.